

成果の説明書

(氏名) 梅田宙	(学部)経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>【研究】</p> <p>①刊行物</p> <p>(1)書籍</p> <ul style="list-style-type: none">・梅田宙(2022)「第4章 財務・税務担当にとってのサブスクリプション」谷守正行編著『サブスクリプションの理論と実務』きんざい。 <p>(2)その他</p> <ul style="list-style-type: none">・梅田宙(2022)「日本管理会計学会 2022 年度年次全国大会学会ルポ」『企業会計』12月号。 <p>②口頭発表</p> <ul style="list-style-type: none">・梅田宙 2022 年 10 月 2 日「バランスト・スコアカードの文献レビューと考察」2022 年度日本知的資産経営学会全国大会自由論題報告。 <p>③未刊行の原稿</p> <ul style="list-style-type: none">・わが国企業における予算制度の実態調査報告書『産業経理』・「企業間連携時における情報共有と探索コストの関係性」『メルコ管理会計研究』・「国内上場企業の BSC 導入事例の整理と考察」投稿先未定 <p>【教育】</p> <p>課題出題の回数を増やし、課題のフィードバックを次回の授業で行うことを心掛けた。選択式の課題を提示し、問題を解く過程で受講生の理解度が高まることをめざした。また、レポート課題を課し添削を行い、全受講生にフィードバックした。学生の理解を促進することを狙いとし、パワーポイント資料に加えて穴埋め形式のレジュメを作成し、授業の区切りごとに学生に空欄記入をさせる形式を取り入れた。ペントタブを用いてスクリーン上で計算過程を説明する仕組みを導入した。</p> <p>ゼミは、テキストの輪読、経済紙や新聞を活用した企業のケース分析、卒業論文の指導などを行った。課外活動では、ゼミ合宿を行い、日経ストックリーグに参加した。またオンライン形式でインゼミを実施した。</p>	
<p>2 その他の事項</p> <ul style="list-style-type: none">・日本組織会計学会 学会賞・優秀発表賞「病院における原価計算の活用実態－影響システムと情報システムの観点からの考察」・日本知的資産経営学会 2022 年度年次大会 準備委員 理事・日本知的資産経営学会 学会誌の J-STAGE 搭載に向けた活動・日本医療バランスト・スコアカード研究学会 学会賞審査委員、監事・『日商簿記検定 2 級模擬試験問題集 2023 年度版』実教出版 工業簿記作問・校閲・出前授業 (2022 年 11 月 17 日 前橋育英高校)	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>【研究】</p> <ul style="list-style-type: none">・メルコ学術振興財団から得た研究助成、「企業間ネットワーク構築における管理会計情報の貢献：インタangibleズの利用を中心に」を投稿する。・BSC 活用の実態調査研究を進めていく。 <p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none">・講義：過年度資料をベースとしつつ、内容を更新する。・ゼミ：輪読を継続するとともに今年度も他大学とのインゼミでの報告を目指す。	